**平成30年度　事業報告書**

1. 音楽、演劇、講談などによる啓発活動事業

(1)講演会の開催

　　　　＊講演者：瀬戸大作さん（避難の協同センター事務局）

＊タイトル：「避難者」を孤立させずに、ともに支える道を求めて

＊開催日：9月15日（土）

＊会場：本郷文化フォーラム

＊参加者：25人

(2)朗読劇の開催

＊出演者：中村敦夫さん

　＊タイトル：線量計が鳴る

＊開催日：1月19日（土）

＊会場：北区　北とぴあペガサス

＊参加者：183人

**＊執行額：32,454円**

(3)広報による啓発活動

　　①機関紙「此処彼処」を年2回発行しました。

　　　＊発行：9月、3月

　　　＊発行部数：各1,000部

　　　＊郵送人数：230人

　　②メルマガ/Facebook：随時配信しました。

　　③ホームページ：製作会社に管理を委託し、内容の充実を図り随時情報を発信しました。

**＊執行額：256,414円**

2．放射能から子どもたちを守る活動

　①心のリフレッシュを図る文化出前公演

　　　　保養に参加できない子どもたちへの心のリフレッシュを図るために、会津出身の若狭さちさんの「民謡」で保育園や幼稚園でワークショップを開催しました。馴染みの少ない「民謡」なだけに、子どもたちが受け入れるのか心配しましたが、どこでも大変好評でした。

　　＊内容：民謡によるワークショップ

　　＊対象者：幼稚園・障がい者施設など３か所　計300人

　　＊実施日：11月12日～13日

　②保養キャンプ

練馬で活動している「NPO法人福島子ども保養プロジェクト＠練馬」を通して、福島県内の未就学児の親子キャンプをサポートしました。川遊びができない福島県内の子どもたちにとっては、リフレッシュになる数日でした。

　　　＊対象者：浜通り、中通りの親子

　　　＊実施日：8月3日～7日（浜通り）、8月17日～21日（中通り）

　　　＊場所：埼玉県飯能市

**＊執行額：237,987円**

3.　福島のコミュニティー再構築の支援活動

　　1）以下の団体の賛同団体となり、情報などを共有しました。

　　　　＊NPO法人たらちね

　　　　＊避難の協同センター

　　2）今年度は「いわきオーガニックコットン全国大会」に協賛しました。

**＊執行額：42,400円**